

2026年度 社会学研究科 修士論文 提出スケジュール・提出要領に関する事項

1. 修士論文構想
報告会
- 「修士論文構想報告会」を春学期末に行う。
【修士論文構想報告会概要】
 報告者：前期課程2年次生全員
 参加者（教員）：全専任教員，助教
 参加者（学生）：前期課程2年次生（全員），前期課程1年次生（全員），後期課程学生（任意），学部生（任意）
 実施形態：報告会形式（授業外）
 内容：前期課程2年次生による修士論文の構想内容の説明，参加者による質疑応答，教員からの指導
 日程等の詳細については，指導教員に確認すること。
2. 修士論文
（仮提出）の
提出要領
- (1) **提出期間** 2026年11月10日（火） 9：00～17：00
 11月11日（水） 9：00～15：00（時間厳守）
- (2) **提出場所** 池袋キャンパス教務事務センター
- (3) **部 数** 2部
 * 1部が修士学位論文指導教員に，1部が修士論文第一副査に渡され，修士論文の完成に向けた指導がなされる。
- (4) **提出証** 提出にあたっては，「提出証」を添えること。
 * 仮提出用の「提出証」は，池袋キャンパス教務事務センターで配付する。
- (5) **製 本** 所定の方法による簡易製本をおこなうこと。
*** 上記の製本方法を満たさない場合は受理されない。**
 特に，ばらばらのもの，ばらばらのまま袋に入れたもの，クリップ・輪ゴム・ホチキスで留めたもの，ひもでとじられたもの，穴をあけてフラットファイルでとじたもの，はさみこむだけのバインダーを使用したものなどは受理されないので注意すること。
- ☞提出に際しては，履修要項「VI 試験・成績－5 レポート『レポート・論文等の提出に際しての注意』」を参照すること
3. 修士論文
（仮提出）の
その他の形式
- (1) **表 紙**
 「2026年度修士論文（仮提出）」，論文題目，指導教員名，研究科専攻，課程，学生番号および氏名を明記すること。
 ※その他細かい書式については，指導教員の指示に従うこと。
4. 修士論文
（本提出）の
提出締切・
提出場所・
提出届
- (1) **提出期間** 2027年1月8日（金）～1月14日（木）15:00（時間厳守）
 ※日曜祝日、授業休講日は除く。平日9:00～17:00，土曜は9:00～12:30まで
※最終日は10:00～15:00
- (2) **提出場所** 池袋キャンパス教務事務センター
※最終日は5号館1階会議室（第1・2会議室）
- (3) **提出回数** 一度のみ。複数回の提出は不可。
- (4) **提出証** 提出にあたっては「社会学研究科修士論文提出届」を添えること。
 * 「社会学研究科修士論文提出届」は，12月1日以降に指導教員から受け取ること。
 池袋キャンパス教務事務センターでは配付しない。
- ☞提出に際しては，履修要項「VI 試験・成績－5 レポート『レポート・論文等の提出に際しての注意』」を参照すること

5. 修士論文
(本提出)の
提出部数・
製本・修士

- (1) **部数** 4部(1部は保管用, 3部は審査用)
***提出部数に不足がある場合は受理されない。**
*主査(修士学位論文指導教員), 修士論文第一副査, 第二副査に1部ずつ渡され,
1部は学部事務2課に送付されて保存用とされる。
- (2) **製本** 所定の方法による簡易製本をおこなうこと。
***上記の製本方法を満たさない場合は受理されない。**
特に, ばらばらのもの, ばらばらのまま袋に入れたもの, クリップ・輪ゴム・ホチキスで留めたもの,
ひもでとじられたもの, 穴をあけてフラットファイルでとじたもの, はさみこむだけのバインダーを
使用したものなどは受理されないので注意すること。
- (3) **修士論文認定証**
保管用1部の表紙の裏に「修士論文認定証(社会学研究科)」を全面糊付けで貼付する。
認定証には指導教員の署名, 捺印が必要である。
*「修士論文認定証(社会学研究科)」は指導教員から受け取ること。
池袋キャンパス教務事務センターでは配付しない。
***「修士論文認定証(社会学研究科)」が貼付されていない場合, 認定証に指導教員の署名・捺印のない
場合は受理されない。**

6. 修士論文
(本提出)の
その他の形式

- (1) **本文**
① 本文の用紙は, A4判用紙に横書きとする。手書きは不可。
(数式はTeXなどの組み版ソフトを使用して作成すること)

余白部分の指定:	上側: 30mm	下側: 25mm
	左側: 35mm	右側: 25mm
製本のため, 左側の余白が大きいことに注意すること。		

- ② フォントサイズは11ptか12ptを原則とする。
③ その他の細かい書式については指導教員の指示に従うこと。

- (2) **表紙**
① 「2026年度修士論文」, 論文題目, 指導教員名, 研究科専攻, 課程, 学生番号および氏名を
明記すること。
② 1枚目が透明シートになっている表紙を製本に用いる場合は, 第1ページ(扉にあたる)に
書いたものがそのまま表紙になる。そうでない場合は表紙に貼り付ける。

背表紙 背表紙には, 「二〇二六年度修士論文」, 論文題目, 氏名を明記すること。

7. 修士論文
(本提出)の
審査手数料

前期課程に在学して所定の単位を修得後, 3年次以上に引き続き在学し, 論文を提出する場合には,
「立教大学学位論文審査手数料規則」を参照し, 論文審査手数料を納入すること。
該当者は, 指定の金額分の証紙を池袋キャンパス教務事務センター内証紙券売機で購入し, 論文と
共に提出すること。

8. 修士論文
(本提出)の
審査・口頭試問

審査・口頭試問は32単位以上の単位を修得または修得見込みで, かつ学位論文を提出した者について
行う。口頭試問は, 主査, 第一・第二副査が試験官となり, 試験終了後協議を行い, 合否を判定する。
口頭試問の日程は11月中旬に社会学研究科教務掲示板にて発表する。

9. 論文審査基準

論文審査は次の基準にもとづいて行う。

1. 研究テーマが明確で独創性があること
2. 研究内容と方法が明確であること
3. 論文構成が適切で, 論旨展開が論理的で明確であること
4. 文献・史資料の引証や調査データの利用・提示が明確で適切であること
5. 調査・研究に対して倫理的配慮がなされていること
6. 学位授与の方針に定めた知識, 能力等を有すると認められること

以上